

道徳科通信

全学年 第7号
令和3年12月21日
研究部

2年生道徳の授業を紹介します！

主題名：日本文化の心 テーマ：伝統

教材名：『包む』

……本文より抜粋……

ふろしきは、それ自体に形がないから、中身に合わせて、四角い物も丸い物も包むことができる。革のバッグでは形が決まっているために、用途や中身によって何種類も必要になる。

【中略】

「包む」ことは、物を保護したり保存したり移動させたりするために、世界じゅうに見られる普遍的な行為だが、それをとりわけ大切にはぐくんできたのが日本の文化かもしれない。デパートで贈答用の菓子を買うと、一つ一つが薄い和紙にくるまれ、化粧箱に入れられ、のしがかけられ、包装紙で包まれ、さらに紙袋に入れられて手渡せるのが常である。

ところが、「つつむ」には、人の感情や表情を内に抑えて、外に現れないようにするという意味もある。その変化した形である「つつしむ」も「つつましい」も、ともに、あからさまではなく、控えめであることを意味している。

わたしたちが「つまらないものですが。」「ほんのおしるしに。」と言いながら、幾重にも包まれた中身を差し出すのは、「つつしみ（慎む・謹み）」こそ、大切な心が入っているしるしだからである。それは、「わたしの心をこの中に包んであなたに贈ります。」と無言のうちに伝える、非言語的コミュニケーションの一つなので

風呂敷

⇒もと平包みともいわれ、入浴の時に用具を運んでいき、衣服を脱いで包み、風呂からあがったあとにはその上で衣服を着けるのに使われたという。一枚の布で、持ち運び用の袋、脱衣かご、バスマットをかねた。



日本の伝統文化にはどんなものがある？

- 和食 ○着物 ○三味線
- 折り紙 ○琴
- 習字 ○お正月
- 茶道 ○能

「風呂敷」のイメージ

- 泥棒がつけてる
- ださい
- 不便そう
- 使いたくない
- そもそも使ったことがない



実際に色んなものを包んでみよう！



「包む」という行為にはどのような思いが込められている？

- 自分から相手への気持ち
- ・感謝の思い
- ⇒心、気持ちを包んで伝える
- ・大切にしている気持ち
- ・喜んでもらう

日本の文化の良さを1枚の布から考えると…？

- 単純で、簡単で、美しい
- 派手すぎない、シンプルイズベスト
- 自分で工夫できる
- 様々なものに変化することができる(便利)
- 再利用することができ、環境に優しい